

令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	新型コーンクラッシュジョパスC3（GP3）
型番	GP3-100, GP3-150, GP3-200, GP3-250, GP3-350
会社名	古河産機システムズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-4常盤橋タワー
会社WEBページURL	https://www.furukawa-sanki.co.jp/business/material_machine/
製品紹介ページURL	https://www.furukawa-sanki.co.jp/geopus/

製品についてのお問い合わせ先

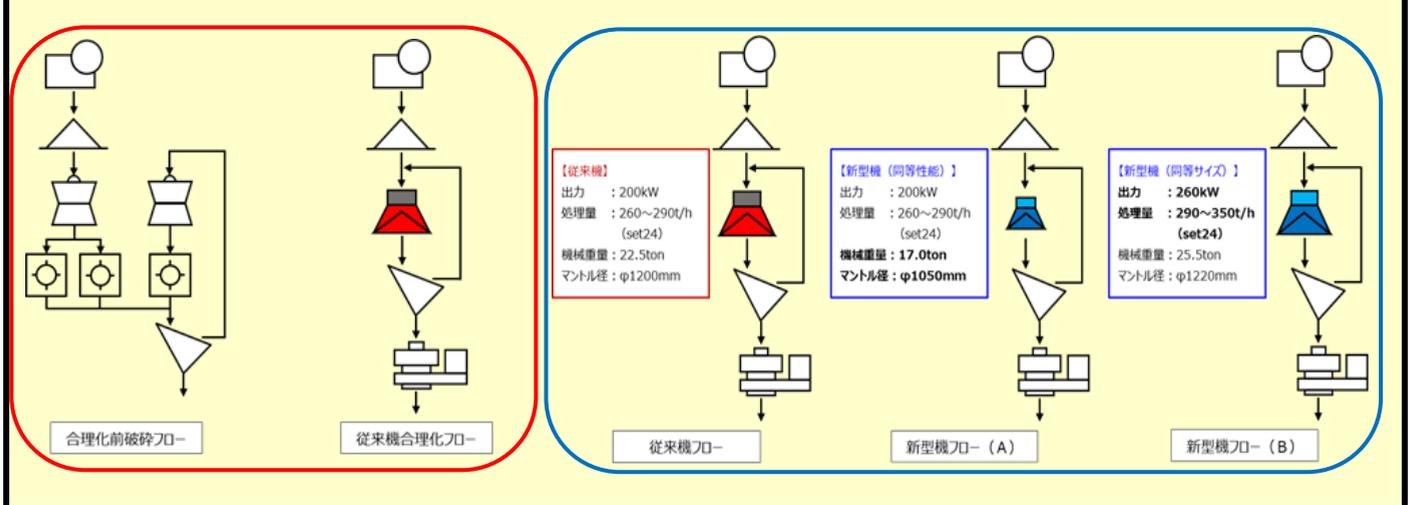
連絡先	〒100-8370 東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー） マテリアル機械本部 マテリアル機械営業部 TEL: 03-6636-951
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	C. 鉱業、採石業、砂利採取業	D. 建設業
導入対象となる分野・プロセス	骨材製造、金属、鉄鋼、非鉄、セメント、エネルギー、各種鉱山業界	
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）	36.4	k1/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%
設備・システム当たりの想定省エネ率	21.3	%
導入事例における費用対効果（年間）	6.1	k1/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	70,000,000	円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	6,000,000	円/年

製品・システムの概要

骨材プラントフローの合理化を基本コンセプトとし、動力低減を実現し、さらに同等性能機比較で、小型軽量化により省スペース化、生産性向上を達成。



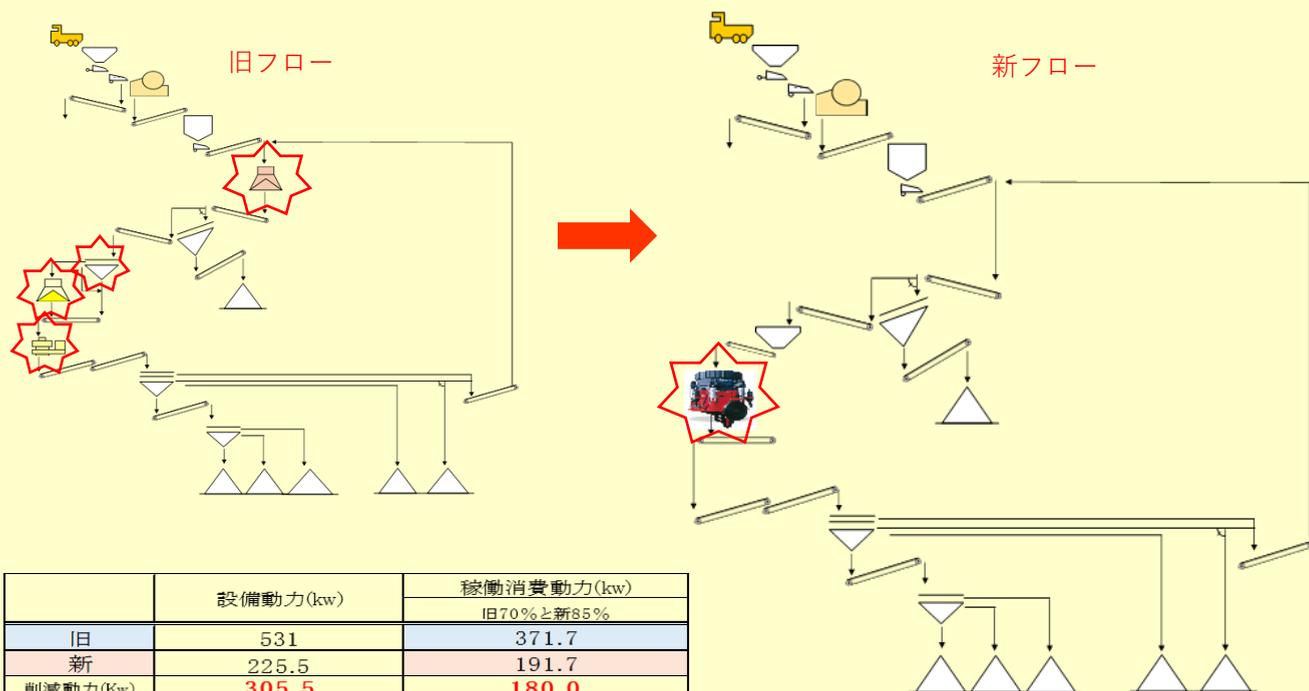
先進性についての説明

ジョパスC3には、以下の先進性がある。

- ①高密度破碎性能のバージョンアップ
同等サイズの現行機に対し、1ランク上位機の性能へランクアップ。
- ②破碎性能の安定化
新開発のロングチャンバー型破碎室（特許取得済み）を採用、消耗品寿命を通して破碎性能を維持。
- ③性能・品質の安定化制御
フィードコントロール機能を採用し、原石供給レベルを自動制御。破碎性能・品質の安定化と運転管理負担を軽減。

製品・システムの概要・イメージ図

1次コーンクラッシャと2次コーンクラッシャと3次破碎機として縦型整粒機が設備された、プラントの合理化例としてGP3-200M1台への入換え例



	設備動力(kw)	稼働消費動力(kw) 旧70%と新85%
旧	531	371.7
新	225.5	191.7
削減動力(Kw)	305.5	180.0
削減率(%)	57.53	48.43
年間省エネルギー量(Kwh)		345,648
上記年間原油換算量(kl)		77.05

導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	鉱業、採石、砕石	対象設備・プロセス	骨材破碎システム
-------	----------	-----------	----------

従来機と新型機を並列に設置しての、性能比較フィールドテストを実施。

比較項目

- ①投入量、投入粒度サイズ
- ②産物処理量、産物粒度分布
- ③稼働時の消費電力アンペア

新型機GP3-200M

従来機GPR-200M

